



# CONTENTS

ごあいさつ ..... 1  
 経営理念 ..... 2  
 ヨークベニマル企業倫理  
**地域社会貢献における取り組み**  
 ①地域の未来を担う子供たちのために ..... 3  
 ②地域社会との共生・連携をめざして ..... 5  
 (財)ヨークベニマル文化教育事業財団 ..... 7  
 (株)ライフフーズ ..... 8

**環境保全における取り組み**  
 ①CO<sub>2</sub>削減 ..... 9  
 ②省エネルギー ..... 11  
 ③リサイクル活動 ..... 13  
**安全・安心への取り組み** ..... 17  
**ヨークベニマルの店づくり** ..... 19  
**ダイバーシティ推進企業を目指して** ..... 20  
 会社概要 ..... 21  
 ヨークベニマルの店舗展開

## TOP MESSAGE

# ごあいさつ

国内の小売業を取り巻く経済環境は、2016年度以降は緩やかな回復基調で推移したものの、世界経済の下振れリスクなど不透明感が継続いたしました。

個人消費におきましては、お客様の選別の目はより一層厳しくなるとともに、生活の質の向上を重視する消費傾向も顕著になってまいりました。また、地方の景気回復が首都圏に比べて大きく遅れる二極化現象も継続して見受けられました。

このような環境の中、当社におきましては、生活提案型食品スーパーの実現を目指し、「基本4項目(フレンドリーサービス、クレンリネス、鮮度と味の追求、品切れ防止)の徹底」、「商品開発」に取り組むとともに、地域のマーケット・ニーズに対応するため、「個店経営・部門経営」を推進しております。

また、当社は、コンプライアンスを非常に重要なものと捉えており、“ヨークベニマル企業行動委員会”の下に、企業行動部会、消費者・公正取引部会、環境部会という三部会を設け、企業姿勢が問われるあらゆるテーマについて、計画立案と実行、その検証を行っております。更に2016年度は、第四の部会となる「社会価値創造部会」を新設しました。今後は、共有価値の創造(CSV<sup>※1</sup>)を目指すという視点からも、社会課題に取り組んでまいりたいと考えております。

ヨークベニマルは、地域社会貢献を事業活動の一つの軸として、地元の皆さまや地域社会との共生を目指し、これからも地域のお客様のお役に立ちご支持いただけるよう、努めてまいりたいと考えております。

今後とも、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



※1  
 CSV(Creating Shared Value)  
 ハーバード大学のマイケル・ポーター教授が2011年の論文で提唱した、「経済的価値を創造しながら、社会的ニーズに対応することで、社会的価値も創造する」アプローチのこと

株式会社ヨークベニマル  
 代表取締役社長

真船幸夫